

キャラクター名 六分咲花 & ネクロイド
プレイヤー名

シンドローム: ハヌマーン ブラックドッグ
ワークス: レネゲイドビーイングA
カヴァー: カヴァー
大学生
オプション: 年齢: 20歳 性別: 女性 & 男性
覚醒: 渴望 衝動 闘争 初期侵食率 33%
出自: 親の理解 経験 小さな名誉 邂逅 恩人

基本値: 3 1 0 成長 他修正 能力値 4
HP: 30
行動値: 6
感覚: 2 0 0 (非装備時)
精神: 2 0 0 戦闘移動 11
社会: 1 0 0 全力移動 22

肉体 感覚 精神 社会
技能 SL 修正 技能 SL 修正 技能 SL 修正 技能 SL 修正
白兵 5 射撃 1 RC 交渉
回避 1 知覚 意志 1 調達
運転: 芸術: 知識: 情報: UGN 3

武器・コンボ 能力 命中値 G値 攻撃力 射程 メモ
妖刀《狂い咲き》 白兵 4r+5 4 10
《ランブル》100↓ 白兵 7r+17 8 10+3D 《コンセントレイトLv2》クリティカル-1
《トキメキクライシス》100↑ 白兵 7r+20 7 10+4D

防具 価格 装甲 回避 行動 メモ
合計装甲: 0 合計回避: 0

所持品

ロイス
対象 感情(pos) 感情(neg) タイムス 消費
Dロイス: 奇妙な隣人P N
《草薙の剣》 P 欲しい! N
P N
P N
P N
P N
最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名 SL コスト タイミング 射程 対象 判定 制限 メモ
ワーディング ★ - オート 視界 シーン 自動 -
効果: 非オーヴァードのエキストラ化
リザレクト 0 1d10 気絶時 - 自身 自動 ↓100
効果: コスト分のHPで復活
コンセントレイト: エグザイル 2 2 メジャー - - - -
効果: クリティカル値-1
オリジン: ヒューマン 2 2 マイナー 至近 自身 自動 RB
効果: エフェクトを使った達成値+Lv
一閃 1 1 メジャー 武器 自身 自動 -
効果: 全力移動のち攻撃可能
音速攻撃 3 2 メジャー - - 対決 -
効果: エフェクトを組み合わせた攻撃ダイス+Lv
バリアクラッカー 2 7 メジャー 武器 - 対決 80↑
効果: ガード、装甲無視 1シナリオにLv回
アタックプログラム 5 2 メジャー 武器 - 対決 -
効果: 達成値+ [LV×2]
バトルビート 3 2 マイナー 至近 自身 自動 -
効果: ハヌマーンのエフェクトを使用した判定ダイス+LV個
獅子奮迅 1 4 メジャー 武器 範囲(選択) 対決 -
効果: 攻撃の範囲(選択)に変更 LV×回数
★
効果:
効果:
効果:
効果:

《我は剛剣——一閃にて境界を創り 運命を断絶するものなり
穢れなき意思を魂に刻み 刃となりて 忠義を捧ぐ
我が剣は主の力 魂は汝と共にある さあ一命を頂こう》
私、六分咲花は激しく後悔している何故あの時願ってしまったのか—力を欲してしまったのか—
人生は一度っきり、でも…もしもあの瞬間に戻れるのなら私は今と違う選択肢を選ぶだろう…何故なら…
『主は今日も通常運転でかわゆい、レロレロしてもよいか?』
「どうして? いいと思ってんのよ!」
こんな変態と四六時中一緒に生活しなくてはならないのだから。
それは私がまだ中学生だった頃、田舎の祖父の家に夏休みを使って帰省していた時にそれは起きた。
まだ、十五歳好奇心旺盛な時期だった私は祖父の言いつけを破り、裏山にある蔵に入っていた。
固く閉ざされていたはずの蔵の扉が開放されていたことに何も疑問を覚えなかった私はそこで黒ずくめの集団に遭遇した。
人生経験が乏しい私から見ても夏場に厚いコートを着た人達は奇妙で胸の内から溢れ出す形容しがたい感覚に思わず声を発し、自らの存在をアピールしてしまっ
た
次に私は自分の体が重力に従い落下するのを感じた。
私の声を聞いた黒ずくめの男の一人が放つ、熱量を持った光弾が私の足元に着弾したのだ。
人の手が幾年触れていなかった蔵はその一撃を受け止められるはずもなく床が抜け、私はそれに吸い込まれるように落ちていったのだ。
今思えばそれは全て偶然ではなく必然。
人間ならざる存在が起きたもの。
そう、ネクロイド・旧名ヤマタノオロチと私とのこれが最初の出会い。
私の前途多難な日々の始まりだった。